

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ZOA

コード番号 3375 URL <http://www.zoa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 伊井 一史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 松森 建次

TEL 055-922-1975

四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,810	△3.7	29	△6.7	29	△6.5	18	0.6
26年3月期第1四半期	2,920	1.8	31	65.5	31	77.6	17	91.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	8.66	—
26年3月期第1四半期	8.61	—

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
27年3月期第1四半期	4,646		2,041	43.9			980.26	
26年3月期	5,686		2,075	36.5			996.60	

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 2,041百万円 26年3月期 2,075百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
27年3月期	—				
27年3月期(予想)		0.00	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,300	6.7	44	23.7	44	31.3	25	29.8	12.23
通期	13,000	△6.5	150	△17.3	150	△14.7	90	△11.8	43.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	2,296,500 株	26年3月期	2,296,500 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	213,500 株	26年3月期	213,500 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	2,083,000 株	26年3月期1Q	2,083,000 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、消費増税前の駆け込み需要の反動減と物価上昇に伴う実質所得低下の影響により個人消費は低下しております。今後の景気は緩やかな回復傾向が期待されるものの、先行きは不透明な状況であります。

パソコン業界においては、消費増税前の駆け込み需要の反動減に加えて、4月9日のWindowsXPサポート終了後により買い替え需要が一段落したこともあり、パソコン本体の販売台数が落ち込んでおります。

バイク業界においては、二輪車の国内工場出荷台数は減少しており、ライダーの高齢化も進んでいることから今後も需要は縮小傾向にあると予想されます。

このような状況下で当社は、パソコン事業においては、いまだWindowsXPサポート終了に伴う買い替えがお済でないお客様に対応するため、買い替えニーズの高いWindows7を搭載したパソコン本体の在庫を確保して引き続き展開を行いました。競合他店で在庫が無くなる中、差別化が図られたことで売上高を伸ばすことができました。また、初期設定やデータ引越し等のサポートを充実させて買い替えを促進することで、多くのお客様に購入いただくことができました。以上の結果、パソコン事業全体の売上高は前年同期比2.6%の増加となりました。

バイク事業においては、高額なヘルメットやジャケット等が消費増税前の駆け込み需要で前事業年度末に売上高を伸ばした反動で、4月以降の売上高は減少しました。なお、自身でメンテナンスを行うお客様が増加しており、交換用のバッテリーやエンジンオイル等が好評でしたが、減少した売上高をカバーするには至りませんでした。以上の結果、バイク事業全体の売上高は前年同期比14.1%の減少となりました。

インターネット通信販売事業においては、5月27日に当社のインターネット通信販売用サーバーでシステムトラブルが発生し、サイトの休止を余儀なくされました。6月20日に再開するまでの約1か月間において、販売ができない状況となり、売上高は減少しております。なお、現時点ではシステムトラブルも解消し、通常通りの運営が行われております。以上の結果、インターネット通信販売事業の売上高は前年同期比14.4%の減少となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績については、売上高2,810,631千円(前年同期比3.7%減)、経常利益29,449千円(前年同期比6.5%減)、四半期純利益18,049千円(前年同期比0.6%増)となりました。前年同期に比べて、インターネット通販販売サイトの休止により売上高は減少となりましたが、四半期純利益は増加しております。

(2) 財政状態に関する説明

・資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて1,040,261千円減少し、4,646,149千円となりました。その主たる要因は、現金及び預金が701,222千円、売掛金が487,969千円それぞれ減少し、商品が192,495千円増加したこと等によるものであります。

負債については、前事業年度末に比べて1,006,235千円減少し、2,604,266千円となりました。その主たる要因は、買掛金が763,955千円、短期借入金が100,000千円、長期借入金が95,092千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産については、前事業年度末に比べて34,025千円減少し、2,041,883千円となりました。この結果、当第1四半期会計期間末における自己資本比率は43.9%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想は、平成26年5月13日に公表いたしました「平成26年3月期 決算短信」に記載した業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,603,239	902,017
売掛金	731,257	243,287
商品	1,951,089	2,143,585
その他	139,885	113,382
貸倒引当金	△7,313	△2,433
流動資産合計	4,418,159	3,399,839
固定資産		
有形固定資産		
土地	654,403	654,403
その他(純額)	266,448	258,452
有形固定資産合計	920,852	912,856
無形固定資産	13,666	13,209
投資その他の資産	333,732	320,244
固定資産合計	1,268,251	1,246,309
資産合計	5,686,410	4,646,149
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,301,005	537,050
短期借入金	200,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	380,368	380,368
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	76,288	12,914
賞与引当金	33,720	14,391
ポイント引当金	8,846	7,605
その他	112,288	149,507
流動負債合計	2,152,516	1,241,836
固定負債		
社債	160,000	160,000
長期借入金	1,198,458	1,103,366
長期未払金	8,916	8,916
退職給付引当金	90,610	90,146
固定負債合計	1,457,984	1,362,429
負債合計	3,610,501	2,604,266
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,986	331,986
資本剰余金	323,753	323,753
利益剰余金	1,567,156	1,533,130
自己株式	△146,987	△146,987
株主資本合計	2,075,909	2,041,883
純資産合計	2,075,909	2,041,883
負債純資産合計	5,686,410	4,646,149

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,920,052	2,810,631
売上原価	2,459,958	2,355,703
売上総利益	460,094	454,928
販売費及び一般管理費	428,203	425,171
営業利益	31,891	29,756
営業外収益		
受取手数料	2,804	2,755
その他	856	626
営業外収益合計	3,661	3,381
営業外費用		
支払利息	4,072	3,209
その他	0	479
営業外費用合計	4,072	3,688
経常利益	31,479	29,449
税引前四半期純利益	31,479	29,449
法人税等	13,539	11,400
四半期純利益	17,940	18,049

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。